

顧問先を増やそう！

兵庫県 猫田 一城 氏
社会保険労務士法人オフィスねこの手



現在、中小企業経営者の多くが社労士に期待することは、「最新の法制度や法改正の知識」「専門家としての明快な助言」「経営課題に対する問題解決能力・コンサルティング力」です。『幹事社労士高度化事業』は、このような社労士に近づくことを目的とし、各種サービスの提供を行っております。

このコーナーでは、『幹事社労士高度化事業』に協賛いただいている先生の声をお伝えいたします。

事務所の営業方針について

今年で社会保険労務士として独立して7年目を迎えました。27歳で無謀にも独立開業し、がむしゃらに仕事を行ってきました。今年、社会保険労務士法人を設立するに至り、スタッフも6名まで雇用できるようになりました。現在、クライアント様も135社を数えます。

この7年間、社会保険労務士として仕事を行ってきて、「社会保険労務士の存在意義はどこにあるのか」と日々感じていることがあります。クラウドサービスが充実してきており、事務手続きはコンピューターが行ってくれます。様々な仕事がコンピューターに取って変わられる時代が来ています。単なる事務代行屋では、社会保険労務士の存在意義はなくなってしまうかもしれません。これからは「提案力」、「コンサルティング力」、「コミュニケーション力」を持った社会保険労務士が、顧問先を増やしていくと考えています。

私の事務所の営業方針は、「顧客満足度の向上より、従業員満足度の向上が最優先！」ということをクライアント様に理解していただくことを、基本にしています。

会社の業績を伸ばすには、従業員満足度(ES)の向上が必要不可欠といわれるようになってから数年が経過していますが、実際に多くのクライアント様と接する中で、改めて従業員満足度の重要性を身に染みて感じています。

最近では、社会の変化とともに、働く個人のモチベーションや環境も変

わってきており、それに合わせて、従業員の育児や介護を支援するための充実した制度が整備されつつあります。しかし、それはまだまだ大企業が中心となっており、私たち社会保険労務士のクライアントの大半を占める中小零細企業では、制度の整備は十分ではなく、従業員満足度を向上させている企業はあまり多くありません。大企業と中小企業の間には、もちろん企業の財力、組織力、マンパワーの違いはありますが、それ以前に労務面、従業員満足度に対する企業としての意識の違いが大きいと考えます。

この問題が、浮彫りになっている原因のひとつは、私たち社会保険労務士の企業への関与率の低さではないでしょうか。私たちがもっと積極的に企業に関与して、様々な提案を行っていき、中小企業の事業主様に従業員満足度を向上させることの重要性を訴えていくべきではないでしょうか。私のクライアント様でも、従業員満足度の向上に力を入れているクライアント様とそうでないクライアント様では、企業の発展に顕著な差が出ています。

私は、社会保険労務士として開業したての頃から、積極的に従業員満足度を向上させるための制度を考えてきました。例えば、『年次有給休暇の永久不減制度』や『あみだくじボーナス』等、既存には無い、従業員が働くうえで、楽しく、そして健康的に働ける制度を提案してきました。制度導入当初は従業員側が喜んでくれていただけでしたが、数年経過してそ

れが企業の業績アップにつながると、従業員のみならず経営者側からも喜ばれるようになりました。

コンピューターではできないことが私たち社会保険労務士の仕事にはたくさんあります。ヒトの気持ちの部分のサポートはまだコンピューターにはできません。

幹事社労士高度化事業への参加

私が高度化事業に参加させていただいたのは、高度化事業のさまざまなコンテンツが、営業方針にマッチしており、事務所のサービスに心強い付加価値をもたらしてくれると感じたからです。クライアント様には様々な情報を発信していますが、自分自身で考えるよりも、高度化事業のコンテンツを利用した方が、より質の高いサービスを提供できると考えたからです。

特に、事務所報ひな形は、事務所ニュースとして毎月発行しており、クライアント様に高評価をいただいております。他にも様々な高度化事業のコンテンツを利用させていただいて、近隣の競合他社にはない、きめ細かいサービスを提供できていると思います。

まだまだ発展途上の事務所ですが、「オフィスねこの手にお願いして、本当に良かった」「働くことが楽しくなった」「仕事もプライベートも充実しています」そのような声がたくさん聞こえてくるような、サポートをしていきたいと思っています。

NETWORK INFORMATION CHUKIDAN

ネットワークインフォメーション中企団

114

2017-Oct

CONTENTS

特別寄稿

- 02 絶対に「ブラック企業」を作らない！
社労士の関与手法
- 04 ダイバーシティの現場から…
- 06 業種特化社労士の視点から
- 08 迷走日誌
～労働新聞編集長の最新労働関連情報解説～
- 10 顧問先を増やそう！
～社労士としての知見を
社会に活かしていくための～
事務指定講習から「実務家」への道筋
- 13 経営のヒントとなる言葉
- 16 法令改正最前線
- 18 活躍する隣接士業 ～中小企業診断士～
- 20 CHUKIDAN 研修会ハイライト
- 21 CHUKIDAN おすすめ本
- 22 中小企業の事業承継を円滑に進めるために
～社労士の先生に
知っておいていただきたいポイント～
- 24 ダン・チューキチが行く！
～顧問先社長との雑談に使える～
ヨガインストラクター社労士の
“健康経営よもやま話”
- 25
- 26 中企団事業報告



中企団公式キャラクター
ダン・チューキチ



幹事社労士3,800名のネットワーク

中小企業福祉事業団